選ばれる街に…埼玉県川口市

モノづくり・人づくり・街づくり、新時代の中核市

埼玉県川口市は人口60万人を超え、2018年には中核市に移行した。東京都に隣接する地の利から、川口市から都内に通勤・通学する通称〝埼玉都民〟も多い。少子高齢化が進む中にあって、人口が増加傾向にある希な地域である。一方、かつて栄えた鋳物産業は工場移転や廃業などで減少傾向にあり、川口鋳物工業協同組合の組合員数は約120社と最盛期から大幅に減った。「住工共生」「事業承継」「人材の多様性」など、川口市産業界が抱える課題は、日本の産業界の縮図でもある。

製造品出荷額38%減も…
人口は1.3倍に増加

埼玉県川口市は鋳物産業で栄えた歴史がある。鉄の溶解炉が多かったことから、日本映画「キューポラの街」の舞台にもなった。

京浜工業地帯にある大企業の協力工場として昭和期に最盛期を迎えたが、東京の後背地とあって1960—70年代から急速に都市化が進展。鋳物工場は市街地から郊外にある工業団地に計画的に移転した。

経済産業省の工業統計調査によると、2000年の川口市の事業所数は4540、製造品出荷額は約7576億円。これが17年には事業所数は3185減の1325、製造品出荷額は00年に比べて約38%減の4664億円に縮小した。

鋳物工場の移転に伴い、ちょうど良い広さの土地が空き、商業施設やマンションが次々に建設されている。これに伴い、人口は増加の一途。川口市の人口は80年に約37万5000人だったのが、00年に約46万6000人、鳩ケ谷市と合併した後の12年には51万7000人、18年に60万人を突破、19年には61万に達している。00年の1・3倍に増加している。

事業所数の減少と人口の増加。これは埼玉県川口市だけに見られる傾向ではない。町工場が多い東京都大田区なども同じような状況にある。住工共生と事業承継、人手不足に由来する人材の多様性など、解決すべき課題は多い。

事業承継 真剣に考える

廃業続出…供給網揺るがす事態

日本が高度成長期にあったころに創業した企業は、経営者が後継者に実権を譲るタイミングにさしかかっている。現状では経営者の年齢の山は69歳となっており、その6割程度が後継者難にあると言われている。事業承継はモノづくりのサプライチェーンを揺るがす問題とされ、政府も対策に乗り出しているが、その縮図が川口市に見て取れる。

「私は70歳の時に、事業承継を真剣に考えねばならないと銀行に相談し、事業承継専門の税理士を紹介してもらった」。川口商工会議所の児玉洋介会頭は、中小企業の経営者らが集まった講演会で話した。

児玉会頭は3年がかりで、自身が経営を担う児玉鋳物（埼玉県川口市）を息子に、児玉コンクリート工業（東京都豊島区）を娘に譲った。親族以外やM&A（合併・買収）による事業承継なども含めて多様な選択肢を検討したという。

その際に問題になったのが金融機関による個人保証。児玉会頭は「個人資産と会社資産をきちんと分けており、経営状況が一定水準を超えていれば個人保証は交渉して外せる。個人保証がなければ経営しても良いという第三者はいるはずだ」と指摘した。

川口市の事業所数は減少傾向にあるが、事業承継を断念して廃業した鋳物業者も多数いるとみられる。

川口伝統の鋳物。溶けた金属（湯）を型に流し込む（辻井製作所）

川口市役所
女性管理職23%に

川口市は従業員数が2030名程度の中小企業が多い。昨今、経営の課題となっているのは人材の確保・育成だ。中小製造業では大学卒の技術者はおろか、工業高校卒業の人材採用もままならない。そこで打ち出されたのが人材の多様性（ダイバーシティー）。女性の活用はもちろん、外国人技能実習生の活用など、人手不足解消に向けた取り組みを本格化している。

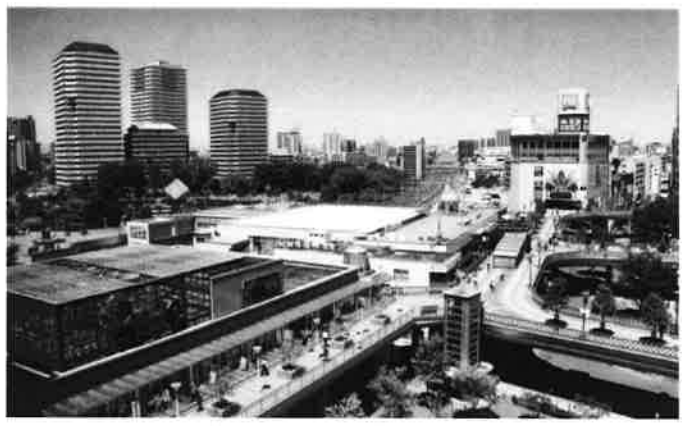
「隗より始めよ」。川口市の奥ノ木信夫市長は、女子活躍を言い出した行政が率先して進めていることを示した。

川口市の女性管理職は15年に199人だったのが、19年には237人と全体の23・1%を占めるまでになった。女性ならではの発想により、行政サービスの質も向上する。

川口商工会議所の児玉会頭も建設業界での女性活躍について評価する。児玉コンクリート工業では5年前に女性の営業担当者を採用した。「最初の3年は鳴かず飛ばずだったが、現在では素晴らしい成績を収めている」（児玉会頭）という。これを踏まえ、埼玉県内の大学に募集をかけ、女性の営業担当者を発掘していく考え。

また、人手不足を解消するため、川口商工会議所では管理団体の認定を受け、外国人技能実習生の受け入れ事業を始めた。

17年に第一期生として29人のベトナム国籍の技能実習生を受け入れ、建設業や製造業など人手が足りない分野に派遣した。今後も同数を受け入れていく考え。川口市では約1000人の技能実習生がいるが、商工会議所も積極的に関わっていく。



JR川口駅周辺

炬火台「震災復興のシンボル」
61年ぶりに里帰り

東北3県を巡った炬火台が故郷に帰ってくる。2019年10月、川口市で「炬火台設置記念式典」が開催される。「震災復興のシンボル」として、宮城県、岩手県を移動し、福島県に9月下旬まで貸与。同市に里帰りするのは61年ぶりだという。

里帰りのきっかけとなったのが、17年12月に提出した要望書。奥ノ木信夫同市市長、川口商工会議所の児玉洋介会頭、川口鋳物工業協同組合の伊藤光男理事長が連名で「新国立競技場に設置するまでの間、聖火台を川口市に貸与いただきたい」旨を要望していた。

この炬火台は、鈴木萬之助・文吾親子が製造し、1964年の東京オリンピック開催時には聖火台として国立競技場に設置された。現在は日本スポーツ振興センターが所有し、高さ、最大直径が2・1㍍、重量は推定4㌧とされている。

10月6日には、川口駅東口公共広場で市内在住の未就学児から中学生までを対象に、炬火台磨きを実施する。最終的には、新国立競技場東側ゲートの正面に設置する予定。

川口鋳物工業協同組合の伊藤理事長は「聖火台が一時的にでも戻ってくるのは非常にうれしい。可能ならば再利用をしてほしい」と話す。

炬火台のレプリカ。湯入れに失敗し、幻となった最初の作品を補修したものだという（青木町平和公園）

INDEX

▽選ばれる街に…埼玉県川口市 …… 7面
▽「住工共生」「川口宣言」…国際都市への変貌
奥ノ木信夫川口市長　児玉洋介川口商工会議所会頭　対談 …… 8面
▽販路開拓支援で技術・技能を発信 …… 9面
▽金融機関一押し　個性派・実力派企業7社
フジテック、児玉コンクリート工業、富田商店、エニーシステム、デイジイ、メトラン、ささき商事 …… 10—11面
▽川口市の産業団体
川口産業振興公社、川口鋳物工業協同組合、川口機械工業協同組合、川口新郷工業団地協同組合、川口木型工業協同組合 …… 11面

FUJIMURA SS
モノづくりの"見える化"
ICTを活用した最先端のデジタル板金工場で
シートメタルのスペシャリスト達が
「つくりたい」を「かたち」にします。
株式会社 フジムラ製作所　〒332-0004　埼玉県川口市領家3-12-10　Tel 048-225-7781　Fax 048-225-7814

Kawakin 川金ホールディングス
新たな価値の創造を
Tomorrow's Technology, Today.
川金ホールディングスグループは、素形材・免制震・産業機械の高度な技術とグループの総合力をもって、高品位の製品とサービスを提供し、安全で安心できる快適な生活・社会基盤作りに貢献していきます。
www.kawakinhd.co.jp

KHK STOCK GEARS　DLS Schmiersysteme
ラック＆ピニオン自動潤滑システム

小原歯車工業株式会社
本　社　TEL:048-255-4871(代) FAX:048-256-2269

ローカル加工のプロフェッショナル
Miyako Roller 株式会社 都ローラー工業
多機能精密コーティング装置
特殊表面仕上げを施したローラーを使用することで
精度の高いコーティングを可能にした精密コーティング装置です。
◎nanoからmicronレベルまでの塗布が可能
◎広範囲の塗布用途に対応
◎量産前の研究開発の試作機に最適
※量産機も製造可能
※ラボ室完備　塗布テスト可能
本　社　〒333-0811 埼玉県川口市戸塚5-14-30　TEL 048-924-1319　FAX 048-926-7627
本社工場　〒340-0027 埼玉県草加市両新田西町112-2　TEL 048-924-1319　FAX 048-926-7627
URL : https://www.miyako-roller.co.jp/　E-mail : info@miyako-roller.co.jp

「住工共生」「川口宣言」…国際都市へ変貌

川口市 講演会

モノづくり・人づくり・街づくり…新時代の川口市産業を考える

人口が60万人を超えた川口市は、中核市に移行して1年がたった。鋳物産業で栄えた川口市は現在でも中小製造業が多いが、住工共生、事業承継、人手不足など、モノづくり産業が抱える課題をそのまま内包しており、日本の縮図とも言える。こうした課題にどう対処していくのか、川口市の奥ノ木信夫市長と川口商工会議所の児玉洋介会頭が「モノづくり・人づくり・街づくり…新時代の川口市産業を考える」をテーマに対談形式の講演会を行った。

川口市長

奥ノ木 信夫氏

「選ばれる街づくり」を推進

モノづくり集積・発展

―鋳物産業中心の街から高層マンションが立ち並ぶ、住宅都市として人口も増加しています。住工共生をどのように進めていくのでしょうか。

奥ノ木　小・中学校の約2500教室にエアコンを取り付け、保育所の受け入れ人数を約6200人から約1万人に増やすなど、「選ばれる街づくり」を進めてきた。鋳物産業を中心に工場を市外に移すなど、民間の力によって街づくりは進められ、現在の姿になった。再開発に対して周辺の地域は非常に協力的。住工共生は騒音や粉じんの面では難しいが、工場に見えない外観など、事業者それぞれの工夫がみられる。今後もモノづくり企業の集積の維持や発展に努める。

児玉　川口商工会議所では、工場見学にとどまらず、モノづくりを体験してもらう「オープンファクトリー」といった催し物を行っている。市民の方々にモノづくり企業を理解してもらうのが目的で、市内約30社が参加する予定。川口には素晴らしいモノづくりがあるのだと誇りを持ってもらいたい。

―2018年に開催した中小企業都市サミットでは「川口宣言」を採択しました。行政・民間はどんなことに取り組みますか。

奥ノ木　将来の不安をなくすことが大切。市は技能検定や国家資格に合格すると、雇用企業に対して受検料を補助している。資格は一生本人のためになるもので、企業にとっても資格者の多さは発展につながる。退職金制度も全国でトップクラスの利回りで、現在は市内の他企業に転職した場合でも退職金を引き継げるか研究している。市内の中小企業に対しコンサルタントの派遣事業なども行っている。

川口商工会議所会頭

児玉 洋介氏

川口ブランド・匠の技 発信

地域企業の販路拡大 支援

―良いモノを作っても売れるとは限りません。川口市と川口商工会議所は市内中小企業に対して、どのような販路開拓支援をしていますか。

奥ノ木　地元企業を応援しようと「知ろう・使おう・広げよう」をテーマに、15年から毎年、川口市市産品フェアを開催している。来場者、出展者、商談件数も年々増えている。ただ、加工技術など目に見えないモノづくりの見せ方に課題があったため、今回は加工技術に明るいマッチングコーディネーターを導入するなどして受発注につなげたい。

児玉　川口商工会議所は、09年に優れた製品を認定する「川口i―mono（いいもの）ブランド認定制度」、14年に匠の技を認定する「川口i―waza（いいわざ）ブランド」を始めた。始まりは、05年の中小企業庁のJAPANブランド育成支援事業で、川口から世界をゆるがす製品を作ろうと薄肉で軽量のフライパン鍋を鋳物で製作した。これがきっかけとなり、これまで50製品、31技術の81ブランドを認定している。会員企業の中には零細企業で営業力のない企業もある。会議所の仕事は認定ではなく、いかに売り上げを伸ばしていくか。メディアへのPRなどを通して販路拡大を支援していく。

―多くの人々、企業から「選ばれる街」になるには。

奥ノ木　街づくりや産業、教育など選ばれる街に向け、一つひとつの政策を具体化し、実現していく。その一環として、4月に「自然保護対策室」を設けた。（旧鳩ケ谷市立沼田公園・市民プールの廃虚から）トンボのヤゴを池に放したり、カブトムシが自生する場所をつくったりするなど自然を守る努力を続ける。自然を大切にする自然豊かなまちづくりを進め、選ばれるまちを目指していく。

川口を元気に　市政の取り組み

新庁舎建設 来春にも完成

昔からモノづくりが盛んな川口市は現在、医療や福祉なども含め、多種多様な産業が支えている。18年4月に中核市への移行を果たし、市民の目線に合わせた街づくりを進めている。

財政運営は健全化を進めている。13年度の市税全体の収納率は、90・6%と県内最低であった。しかし、17年度には95・6%に上昇させた。土地開発公社の長期借り入れについても買い戻しを進めた。市税確保の取り組み強化によって、一般会計の予算増額を実現した。

川口市の3大プロジェクトである「市役所新庁舎の建設」「高等学校の開校」「火葬施設の開所」は順調だ。新庁舎は18年1月に着工し、20年3月の完成を目指している。

川口市立高等学校の建て替えも完了し、現在はアリーナ棟の建設に入った。火葬施設は開所後、赤山歴史自然公園（イイナバーク川口）の一部提供が始まった。

川口を元気にするのが私の仕事であり、地元である川口市内の企業を優先して考えていきたい。

最先端技術を駆使して
モノづくり産業に貢献

鋳造用木型から量産用金型まで
そして鋳物から加工完成品まで
さらに、同時五軸CNCによる
インペラー削り出しを得意としています

TP　株式会社 田口型範
本社・工場　〒332-0032・川口市中青木2-20-15　☎048(251)2765㈹　FAX048(256)0403
東北工場　福島県二本松市
http://www.tpw.co.jp

川口の市内企業を応援します

当公社では、産業の振興と地域経済発展のため、市内企業・市産品の紹介など、川口の産業の情報を発信するとともに、海外展開に対する個別相談の受付、展示会出展及び特許出願審査請求に対する助成金、新製品開発振興に対する奨励金や商談会の開催なども行っております。

公益財団法人　川口産業振興公社
〒333-0844
埼玉県川口市上青木3-12-18　埼玉県産業技術総合センター 7階
TEL048-263-1110　FAX048-262-8882
http://www.kawaguchi-net.or.jp

Ene One
ピカッ
おトクな電気は
エネワンでんき
“のりかえましょ♪”

東ワン子社長役
東ピン子さん

小売電気事業者【登録番号：A0015】
エネワンサービスセンター　デンリョク　イッショニ
0120-106-142
http://www.salsan.net/salsan/pps2/
『エネワン でんき』は ガスワングループが販売する“電力”ブランドです。
株式会社サイサン
本社：〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-11-5　TEL.048-641-8211(代)　FAX.048-645-2325　URL：http://www.saisan.net/

商工会議所の“存在感の確立”　～地域中小企業とまちの元気をつくる～

川口商工会議所
THE KAWAGUCHI CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

〒332-8522　川口市本町4-1-8（川口センタービル8階）
TEL：048-228-2220　FAX：048-228-2221
川口商工会議所　検索　www.kawaguchicci.or.jp

販路開拓支援で技術・技能を発信

川口市と川口商工会議所は市内企業の販路開拓に力を入れている。鋳物産業が地域の製造業の技術力を牽引してきたため、キラリと光る技術や技能を持った企業は多い。そこで、両者は市産品フェアや商談会を開いて販売を側面支援しているほか、市民が製造現場に足を運んでコミュニケーションを図る場を提供するなど、技術力の世の中への発信に力を入れている。

川口市市産品フェア2019

来場者7万人目標／ベーゴマ選手権併催

川口市と川口市市産品フェア実行委員会は、SKIPシティ（埼玉県川口市）で川口市市産品フェア2019を開催する。期間は10月25日―27日。入場料は無料で、7万人の来場を目標とする。

今回で5回目となる同フェアは、市産品の魅力発信や販路拡大を目的とし、同市で生産される製品などを市内外の企業や市民にPRしてきた。加工技術、機械、建築分野の出展企業が多く、2018年には121社の企業・団体が出展、来場者数は6万2920人と過去最高を記録した。今回のフェアも同分野の出展が多く、18年に引き続き、多数の応募があったという。

また、「第15回全国ベーゴマ選手権大会」を開催する。同フェア内で開催されるのは初めて。ベーゴマ選手権大会は05年11月から年1回、同市内のリリアバークなどで実施されてきた。性別・年齢・国籍を問わず参加可能で、ハンディもない。

川口市市産品フェアは今回で5回目となる（昨年のフェア）

大会当日に選手権専用のベーゴマを配布し、トーナメント戦で勝者を決める。同市でベーゴマ製造を行う、日三鋳造所の辻井俊一郎社長は、同フェア内での開催について「関係者一同で一生懸命準備し、立派な大会に仕上げたい」と意気込みを語る。

第3回川口オープンファクトリー

好評自社PR／社員教育にも相乗効果

川口商工会議所が昨年開催した「第2回川口オープンファクトリー」

川口商工会議所は11月8、9日に「第3回川口オープンファクトリー」を開催する。普段は目にすることのない川口市内の工場を公開する。川口鋳物工業協同組合は社会科見学として市内の小学生を受け入れているが、会議所は大人にも照準を合わせる。最新の機械設備や伝統の職人技を見学できるほか、経営者や職人から直接話を聞ける。事前予約、フリーオープン、バスで回るツアーの3企画を用意。参加人数は250人程度を見込み、9月1日に募集を始める。参加は原則無料。

バスツアーの「ぐるっとモノWaZa」では、マエダ、フジテック、栗原精機、かねよし、山伸マテリアルなどを回る。材料から製品ができる過程を学ぶツアーで、埼玉学園大学（川口市）の学生から製作する製品のアイデアを募る予定。

事前予約コースには川口鍛工所、マエダ、フジテック、日照堂、栗原精機、巧和工芸印刷、神陽金属工業、かねよしが参加。予約なしで見学できるフリーコースでは富和鋳造、フロインテックが協力。このほか、市内の30社が参加する予定。

2018年に開いた第2回では川口市民を中心に首都圏からの参加者も多かった。企業からは「自社のPRができた」「社員教育につながった」などの声が挙がっている。

プレミアム付き商品券

最大41億円 消費増税の影響緩和

プレミアム付き商品券で地域を活性化

川口商工会議所、鳩ケ谷商工会、川口市商店街連合会で構成する〝元気〟川口商品券実行委員会は、消費税増税の影響を緩和するため、購入額の一部を上乗せするプレミアム付き商品券「〝元気〟川口商品券」を発行する。発行総額で最大41億円。川口市では例年プレミアム付き商品券事業を行っているが、今回は国の補助事業として住民税非課税者や子育て世帯向けの商品券も販売する。使用期限は10月1日から2020年3月31日まで。

プレミアム付き商品券は個人商店で使える1万2000円分の専用券と大型店でも使える1万1000円分の共通券を1セット2万円で販売する。例年3倍以上の申し込みがあり、好評を博している。住民税非課税者や子育て世帯は5000円分の共通券のみの1セットを4000円で販売。商品券は個人商店のほかタクシーや美容院などでも使える。7月8日現在で1132店が加盟店登録しており、今後2500店を目指す。

10月にはキャッシュレス決済を対象にポイント還元制度が導入される。川口商工会議所ではキャッシュレスセミナーを実施、会員の関心も高まっている。同会議所内には販売時点情報管理（POS）レジの体験コーナーなどを設置。キャッシュレス化の周知もより一層進めていく。

ビジネスマッチング・お宝鑑定会ｉｎかわぐち（仮称）

事前ヒアリングで商談成果増 期待

川口市市産品フェア2019では、市産品の展示やベーゴマ大会だけでなく、「受発注企業商談会」「出展者プレゼンテーション」などを開催する予定。

中でも今回は、商談に結びつく取り組みである「ビジネスマッチング」を新たに導入した。受注機会の増加を促し、市内経済の循環を目的とする。これまでも「受発注企業商談会」が実施されてきたが、事前にコーディネーターが顔を合わせて聞き取り調査を行う点で異なる。

具体的には、同フェア開催前に「経営支援NPOクラブ」のコーディネーターが、企業の課題や販路開拓先の希望を聞く。その後希望に合った企業に面談を依頼し、日程調整を行う。そして、同フェア当日に出展企業のブースを訪問する。

「フェア期間中の商談件数について、昨年の889件を超えることができればうれしい」と担当者は話す。

ほかにも、フェア期間中、幅広い年齢層が楽しめるように「お宝鑑定会ｉｎかわぐち（仮称）」を彩の国ビジュアルプラザで開催する計画。川口市内外の美術品や盆栽などを対象に、当該分野に造詣の深い岡村睦美氏、増渕一夫氏、飯村靖史氏のほか、合計で約6名を鑑定士として招く予定。

川口市市産品フェア2018で開催した受発注企業商談会

Aqua Tech 水とともに
"水"に関わる分野の社会資本整備、浄化事業に取り組み、
人と環境に優しい技術・製品を提供してまいります。
前澤工業株式会社
〒332-0556 埼玉県川口市仲町5番11号 TEL 048(251)5511
http://www.maezawa.co.jp

http://www.i-g-s.co.jp 鋳物はリサイクル製品です
技術と信頼のブランド I.G.S.
Kブラック J 排水鋼管用可とう継手IML
厨房排水管・排水槽通気配管用防食継手
高耐洗浄・耐食性・多層ガラスライニング構造
品揃え充実!
伊藤鉄工株式会社 URL：http://www.i-g-s.co.jp
本社 〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-22-23
TEL：048-224-3986 FAX：048-224-3940

規格品とオーダー品を短期納入！
多様化するニーズに応える
NKS
株式會社 永瀬工場
〒332-0011・埼玉県川口市元郷2－3－56
☎(048)223-3111(代表) FAX(048)223-3115
材質 FC250.FCD600.SCMn2.SUS304.合金鋳鉄
チルド車輪 両ツバ車輪 ロープシーブ クレーン車輪
スーパーホイル カーブキャスター モンホイール バンノーメタル
ハンドルブレーキ ペダルブレーキ レールクランプ
直線レール カーブレール レール付属品
その他上記関連商品

高品質の鋳物・納期厳守で供給
ユーザーと共に歩んで1,000年……
これまでも これからも それが「川口鋳物」の証・誇りです
私達は守ります
製造業のサポーティング・インダストリーとして
『素形材産業取引ガイドライン』をもとに
ベストプラクティス（望ましい取引慣行）を求めて
認証官公需適格組合
川口鑄物工業協同組合
理事長 伊藤光男
〒332-0011 川口市元郷2-1-3 TEL 048-224-6200 FAX 048-224-1536
http://www.kawaguchi-imono.jp/

鋳物・機械・木型・工具など様々な産業が集積する
川口市。その集積メリットを生かし、高度に連携
した川口の工業は日本の産業を支えています。
川口の機械工業を
応援しています。

川口機械工業協同組合
〒332-0012 埼玉県川口市本町3-3-6
TEL 048-224-8111
FAX 048-224-8116
http://www.machinemate.or.jp/
e-mail：info@machinemate.or.jp

一押し 個性派・実力派企業7社

埼玉県川口市は、鋳物や機械工業、植木をはじめとする幅広い産業が栄える県内有数の産業都市。第1次産業が非常に少なく、第3次産業が過半数を占める都市型構造だが、製造業や建設業を中心とする第2次産業の比率は他都市と比べても高く、工業都市の色も濃い。伝統的な産業が地域に根付きつつも、サービス業など新たな産業も芽吹いている。地域に密着し地域を支える七つの金融機関に、高い技術力を持つ企業やニッチの分野で活躍する川口市内の〝一押し〟の中小企業を紹介してもらった。一押し企業のトップに経営戦略や今後の取り組み、金融機関には各社への評価を聞いた。

フジテック

本社・川口工場を移転・稼働

藤田昭一社長

フジテック（埼玉県川口市、藤田昭一社長、048・297・5103）は、6月に本社・川口工場を同市内に移転し、稼働した。外観は青とオレンジ色。内部もカラフルで、全面ガラス張りの会議室を設けるなど随所にこだわりがみられる。

建設土木のほか食品、化学のプラント向けに、鋼板や形鋼など各種鋼材のR曲げを手がける。曲げの種類は大きく分類しても100種類ほど。曲げの総合業を目指しており、同業とも交流を深める。工場内では、カンカンと加工物をたたくハンマーの音が響いており、藤田社長は「曲げは必ず最後に人間の手が必要」と技術力の向上に努める。

配送部を持っているのも特徴。関東一円や新潟などへ「精度を保ったまま自社で配送する」（藤田社長）。このほど、配送部と川口工場に女性が入社するなど同社に新しい風が吹く。「若者が入社したいと思うような、夢と希望が与えられる企業にしていきたい」（同）と今後の展望を語る。

埼玉りそな銀行 川口支店 関克巳 支店長

日本有数の曲げ技術を持つ企業。地域貢献にも力を入れており、今後も地元銀行として共に発展していきたい。

児玉コンクリート工業

関東エリア強化 地域戦略に軸足

児玉桜社長

1月に創立60周年を迎えた児玉コンクリート工業（東京都豊島区、児玉桜社長、03・3971・7195）。コンクリートパイル製造用の遠心機を製造していた児玉鋳物（川口市）の顧客の下請けとしてコンクリートパイルを製造するため川口で創業。本社は東京都だが、工場は川口市に構える。

コンクリートパイル業界は上場企業が多く、他社が全国や海外へ展開する中、児玉社長は「関東エリアに注力すると決めている」と地域戦略を強調する。川口市や埼玉県といった地場に強く、官庁・民間ともに手がける。建築が9割以上を占めるが、ここ5年で始めた土木も着実に実を結んでおり、杭は年間5万6000㌧を製造。2020年には6万㌧を目標に掲げる。

同業との業務提携により、鋼管杭や現場造成杭の施工も可能になった。約3年前から什器や備品などの商社機能も持つ。その分野でも売り上げを伸ばし、20年に売上高50億円を目指す。

武蔵野銀行 川口支店長 野田一郎 執行役員

同社は当地を代表するコンクリートパイル開発製造業者。地元銀行として同社の成長に貢献していきたい。

富田商店

トータルカーコンサルが強み

富田浩正社長

富田商店（埼玉県川口市、富田浩正社長、048・254・2020）は、ガソリンスタンド運営や塗料販売を行っている。創業当初は塗料販売のみだったが、戦後にガソリンスタンドを開始。現在、両事業の売り上げ構成比は5対5ほどだという。「異色の2種だが、ガソリンスタンドに塗装のサンプルを置くような工夫をしている」ようだ。

同社の強みは、車に関するあらゆることに対応する「トータルカーコンサルティング」。「ガソリン販売だけでは厳しく、収益の柱を作っている」という。さらに、各場所の景観に合う色を提案する「色彩提案力」にも力を入れる。「カラーコーディネーターの資格を取得するよう、従業員にも促している」と話す。

課題は人材確保と育成。「企業は人なり」と考える富田社長は、2019年4月に人事考課制度を導入するなど「100年企業に向けて整理し、選ばれる企業にしたい」と意気込む。

商工中金さいたま支店 森本眞之 支店長

地元川口に貢献し、環境を意識した取り組みを行う企業。メーンバンクとして今後も同社の成長を応援したい。

エニーシステム

コンテンツ配信で市場開拓

秋野欣正社長

エニーシステム（埼玉県川口市、秋野欣正社長、048・430・7221）の秋野社長は、日本オリベッティ（現NTTデータジェトロニクス）出身。金融手形発行機やタイプライターの保守、看護支援システムの開発などで技術を磨き、2014年に起業した。

「電子カルテの技術を使って、コンテンツ配信の仕組みを考えた」（秋野社長）という同社の主力製品は、コンテンツ配信システム「MultiKIS（マルチキス）」。ホームページやYouTubeの動画などのコンテンツをクラウドのアプリケーション（応用ソフト）で管理し、Wi-Fi（ワイファイ）環境下で動作するシステム。デジタルサイネージ（電子看板）などに配信する。

このほどマルチキスを活用した脈拍測定器「パルスハートⅢ」を発売した。「自動販売機や冷蔵庫など、マルチキスはいろいろなモノに組み込める」と力を込める。今後もさまざまな分野に食い込んでいく。

日本政策金融公庫 浦和支店 水谷享俊 支店長

代表者のこれまでの経験を活かした、柔軟な発想で商品開発に取り組む企業。今後の成長を応援したい。

デイジイ

伝統製法を守り「おいしさ」追求

倉田博和社長

デイジイ（埼玉県川口市、倉田博和社長、048・227・6061）はパン、洋菓子の製造・販売を行っている。県内6店舗、東京に3店舗を構え、200種類以上の商品をそろえる。「地域住民だけでなく、県外からのお客さんも訪れる」ようだ。

「おいしさ」を追求するために、オールスクラッチという伝統製法を守り、揚げ物のカロリーを抑えるドクターフライを導入するなど、味に影響しない機械化を進めている。

「海外の展示会に参加し、仕込みの合理化などを学んでいる」としつつ、「労働環境を良くするためにも、試行錯誤の日々」だという。

おすすめは「クロワッサンB.C.」。「1個でさまざまな食感が味わえる」点が売り。「モノを作る以上は真剣。材料を吟味することは当然のこと」と話す倉田社長は「従業員から機械屋さんまで関係者全員が幸せになれば」と笑顔で語る。2019年は新店舗の開店を目指す。

埼玉縣信用金庫 川口朝日支店 梅津政之 支店長

同社の事業拡大の一助となれるよう、地域金融機関として適時適切なソリューションを提供していきたい。

世界を動かせ。 川口内燃機鋳造株式会社 KAWAGUCHI NAINENKI

ベアリングの精度を正しく保持する
プランマブロック
OKS 鋳鋼 鋳鉄製
●製品即納、地方発送いたします。
●融受のことならなんでも御相談下さい。

日新工機株式会社 〒332-0004 埼玉県川口市鳩ヶ谷1丁目21番1号 TEL 048-222-5728 FAX 048-223-2050
E-mail:oks@nisshinkoki.jp URL http://www.nisshinkoki.jp

TSUJII
～基本を守り、世界に誇れる製品を作ります～
・ダクタイル鋳鉄（FCD）、普通鋳鉄（FC）
・耐酸高珪素鋳鉄「アリロン」
創業：1919年 埼玉県川口市の鋳造メーカーです

〒332-0011 埼玉県川口市元郷1-32-9
TEL：048-222-3363 FAX：048-223-7480
E-mail：imono@tsujii-ss.co.jp
～お陰様で創業100周年～
株式会社 辻井製作所
http://tsujii-ss.co.jp/

FTC 各種鋼材R曲げ加工
フジテック株式会社

本社・川口工場
〒334-0057
埼玉県川口市安行原100-2
TEL 048-297-5103
FAX 048-297-5104
加須工場
〒349-1213
埼玉県加須市栄509-3
TEL 0280-62-3586

この街の元気をもっと。
考えて動く力で応援します！
More For You
武蔵野銀行

経営者の皆さまの熱い想いをお聞かせください！
私たちが全力でお応えします！
●ビジネス創出の機会をご提供いたします。
●企業経営のフォローアップに努めます。
●お客さまのニーズをともに考えます。
●各種ソリューションをご提供いたします。
りそにゃ
RESONA 埼玉りそな銀行

大型研削加工
最大加工能力 / 最大加工能力
・ロータリー研磨 1600φ
・門型平面研削盤 1850φ×5200
・立型内面研磨 内径600×外径700×高さ450
（加工範囲） 外径1000までできます。
・NC研削盤（大隈製47N） 425φ×2650
・大型ロール研削盤 1100φ×7500
450×5000ℓ1台 長尺物
騎西研磨工業株式会社
騎西工場 〒347-0126 埼玉県加須市外田ヶ谷385-1 TEL.0480-73-6788㈹ FAX.0480-73-6789
鳩ヶ谷営業所 〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷5-4-9 TEL.048-284-5115 FAX.048-284-5148
工業用硬質クローム
●工業用硬質クローム ●平面研磨 ●グラインダー研磨加工（円筒、内研） ●無電解ニッケル
羽鳥鍍研工業株式会社
本社工場 〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷5-4-9 TEL.048-284-5115 FAX.048-284-5148

おかげさまで創業20周年
ステンレス製品全般
◆ステンレス製品の製作お任せ下さい
・薄物をメインに製缶、板金対応致します。少量でもどうぞ
・最新のレーザー溶接機を導入。低コスト、短納期対応が可能です
◆メカトロもやります
・設計、製作、制御、メンテナンスの一連に対応致します
・請負製作も対応可能。お気軽にご相談下さい
◆製薬向けで20年。他に食品、化学、一般工業向け等 幅広い納入実績
◆特殊品、一品物、ご相談下さい
Freuntek
株式会社フロインテック
〒332-0003 埼玉県川口市栄領家5-11-20
TEL：048-227-0280 FAX：048-227-0282
https://freuntek.co.jp/

日本政策金融公庫 浦和支店 さいたま市浦和区岸町4-25-14 電話番号 048-822-7171

まっすぐ、あなたへ。
埼玉縣信用金庫
聞き上手
会長 安田 格
理事長 橋本 義昭
本部 熊谷市久下4丁目141番地
048-526-1111㈹

地域の皆さまと共に歩む
川口信用金庫
会長 日下 義章
理事長 木村 幹雄
http://www.shinkin.co.jp/ksb/
〒332-8686 川口市栄町3丁目9番3号 TEL 048-253-3333

First Call Shinkin Bank
地域一番の金融サービスを目指して
青木信用金庫
理事長 清水 博司
〒332－0032 川口市中青木2丁目13番21号
TEL 048－251－5880

埼玉県川口市の産業団体

トップは語る

川口産業振興公社　奥ノ木 信夫 理事長

中小企業の販路拡大を促進

川口産業振興公社は、市内中小企業支援のための情報提供や商談会開催、新製品開発支援、展示会等出展事業助成金などを通し中小企業の販路拡大を促進している。10月25日には「川口市市産品フェア2019」に併せ商談会を開催する。

2019年度新規事業として市や市内金融機関と連携し、事業承継セミナーを年6回開催する。企業経営者にとって重要な経営課題である事業承継の準備と計画的な取り組みができるよう講習を行う。

川口鋳物工業協同組合　伊藤 光男 理事長

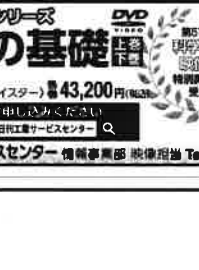
生産性の向上・高付加価値化を推進

有給義務化や残業規制などの働き方改革に対応するため、省人化・省力化は喫緊の課題だが、ＩＴ化へと投資しようにも厳しいのが現状だ。生産性の向上と高付加価値化を推進する。中国の環境規制による鋳物の減産や経済産業省の下請け取引適正化政策などのチャンスをものにできるよう努める。８月頃には初めて事業継続計画（ＢＣＰ）セミナーを開き、ＢＣＰへの意識を高めてもらう。川口鋳物工業協同組合の会員数は約120社。

川口機械工業協同組合　松井 勤 理事長

高校・専門学校にインターンなどＰＲ

設備投資の動向に陰りは見えるものの、現場は依然として深刻な人手不足が続く。工業高校だけでなく専門学校のインターンシップ（就業体験）など地道なＰＲに取り組む。働き方改革やＩｏＴ（モノのインターネット）化などに向け、セミナーや個別コンサルティングなどで対策を講じる。事業承継の課題には組合内での事業承継など仕組み作りも視野に入れる。川口機械工業協同組合の会員数は約180社で地域別の部会の活動も盛ん。



川口新郷工業団地協同組合　石川 義明 理事長

住工共生の祭り「ばんばん祭」継続開催

組合創立50周年を控え、地域社会の中の組合であることを意識しながら、組合員のための組合としての機能も一段と磨いていきたい。

地域住民とともに実施して、住工共生の祭りとして定着した「ばんばん祭」は引き続き実施していく。また、組合員のために実施している電力の共同受配電事業では変電所の整備を考えているほか、協同組合の事務所のある会館が老朽化しているため、建屋の整備も視野に入れている。

川口木型工業協同組合　小川 勝利 副理事長

情報交流・各社間の業務協力で生産性高める

平成元年には組合会員企業が160社在籍したが、令和元年５月の総会時では４分の１の40社となった。それでも、全国的には木型業者が最も多い地域は川口市という状態である。今後も高齢化や人手不足により減少傾向は続くと考える。

少数になったが鋳物製造に木型は必要だ。川口木型組合を中心に情報交流や各社間での業務協力を行い生産性を高めることで地域の製造量を維持、各社の利益を確保し設備や人材の補強につなげたい。

金融機関

メトラン

中根伸一社長

1984年、世界初というピストン式ＨＦＯ（高頻度振動換気）人工呼吸器を開発したメトラン（埼玉県川口市、中根伸一社長、048・242・0333）。同社の人工呼吸器は全国90％以上の新生児集中治療室（ＮＩＣＵ）で導入されている。

約50人の従業員のうち、ベトナムや米国など海外出身者が約15人と国際色豊かな企業だ。本社工場のほか、ベトナムに工場とソフトウエアの開発拠点を構える。2019年4月期の売上高は約13億円を見込み、このうち、人工呼吸器と動物用人工呼吸器が各3割、4割を睡眠時無呼吸症候群などに対応する在宅医療機器が占める。

日本医療研究開発機構の17年度「開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業」に採択。中根社長は「日々、技術開発に努める」と話す。最初から世界市場を狙い、20カ国以上に輸出の実績も。海外売上比率が現在2－3割だが、将来は半分以上へと押し上げる。

人工呼吸器 海外市場でも実績

川口信用金庫本店営業部　榎本英昭 営業部長

病を抱える方々の健康を応援するための医療機器開発に尽力する企業。その理念に賛同し応援していく。

ささき商事

佐々木一春社長

全自動マージャン卓の販売、修理などを手がけるささき商事（埼玉県川口市、佐々木一春社長、048・251・8141）。佐々木社長は5月1日、天皇の即位と改元を契機に2代目に就任した。売上高の7割はマージャン卓の販売。雀荘が中心だった顧客層だが、現在は個人など多岐にわたる。同社の強みは機械の豊富な知識と修理技術。国産約12種類の機械を扱うことができ、年間の修理依頼は3000件に上る。

プロマージャンリーグ「Ｍリーグ」の発足や高齢者施設の娯楽としての活用など近年注目が集まるマージャン。このほど新本社内に「賭けない・飲まない・吸わない」の健康マージャン教室をオープンした。

今後はマージャンを教える先生の育成も行っていく。

ＹｏｕＴｕｂｅなどインターネットも上手に活用しており、米国から本社のショールームを訪れた顧客も。佐々木社長は「マージャン人口を増やしてマージャンを健全な大衆娯楽にしたい」と話す。

機械の豊富な知識・修理技術強み

青木信用金庫本店営業部　太田正喜 営業部長

長年健康マージャン普及に尽力。新社屋が完成し、営業も積極的に活動中。メーン行として成長を支援したい。

高品質・高精度への追求

大型精密機械加工・
マルチ5面マシニング加工
短納期の対応
素材から完成品まで
材料、熱処理、機械加工、メッキ、塗装
埼玉県「彩の国工場」指定事業所
川口市技能振興推進モデル事業所
OOKUMA 有限会社 大熊鉄工所
本社工場・〒332-0031・川口市青木2-12-12 ☎048(251)6236 FAX048(255)9498
第2工場・〒332-0015・川口市川口5-14-13 ☎048(251)1645 FAX048(251)1681
E-mail:ookuma@machinemate.or.jp
http://www.machinemate.or.jp/ookuma/

超微粒粉砕機 MASUKO
スーパーマスコロイダー
単なる粉砕の域を超えた"融けるように感じるほどの超微粒化を可能にした"摩砕機です。

CNFはスーパーマスコロイダーを用いて簡単に作ることができます。
用途例
食品、化粧品、医薬品、
ケミカル原料、
バイオマス素材（CNFなど）
増幸産業株式會社
〒332-0012 埼玉県川口市本町1-12-24 Tel.048-222-4343 Fax.048-223-9790
http://www.masuko.com/

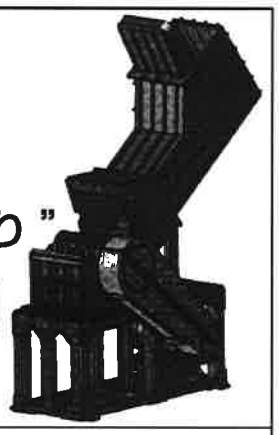
加工&組立 お引き受け!!
― 図面さえあれば素早く製品化 ―
(X)　(Y)　(Z)
加工
●横形ＭＣ(900× 800× 850)
(700× 700× 630)
●立形ＭＣ(900× 350× 400)
●NC横中ぐり盤 (1,600×1,250×1,130)
●ＮＣ旋盤 (φ620×1,600ℓ)
(φ380×1,100ℓ)(φ250×600ℓ)
●その他フライス盤、旋盤等
組立
●各種機械(大物～小物)の加工～組立まで一括受注
沼口機械工業株式会社
〒332-0032 埼玉県川口市中青木2丁目6番1号
TEL (048)251-5784㈹ FAX (048)251-5726

最新技術 と 最新設備
銅合金・ステンレス・アルミ・他各種鋳物
遠心鋳造法 だから
◎木型は不要 ◎組織は均一
製品重量 0.1～6トンまで　単品から量産品まで!

諸機械設計製作
歯車減速機
舶用軸系装置
その他一般機械

短納期の御用命を承ります、御一報下さい!!
石川金属機工株式会社
本社・工場 〒334-0075・埼玉県川口市江戸袋2-2-18 TEL048(285)2411㈹ FAX048(285)2416
鳩ヶ谷工場 〒334-0013・埼玉県川口市南鳩ヶ谷3-26-3 TEL048(284)5181㈹ FAX048(284)5183
横浜支店 〒231-0046・横浜市中区末広町2-3-1 TEL045(242)8855 FAX045(242)8810
URL http://www.isikin.com/

教育用映像ソフト 金属加工シリーズ
金属切削の基礎
原作・監修 澤 武一
（博士（工学）1級技能士 ものづくりマイスター）
DVD 43,200円(税込)
第57回 産業技術賞 特別奨励賞 受賞
2015年制作
FAXまたはHPよりお申し込みください
FAX 03-3666-9800 日刊工業サービスセンター
お問合せ 日刊工業サービスセンター 機械事業部 映像担当 Tel(03)5651-8876



廃プラスチックを再生する"機械創り"
洗浄粉砕機　各種選別機など
創造の産業機械 Creative Industry Machinery
日本シーム株式会社
〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷665
TEL.048-298-7700 FAX.048-298-7750
URL http://www.nihon-cim.co.jp E-mail sales@nihon-cim.co.jp

SAITAMA ビジネスライン
埼玉産業人クラブ
元気な企業が集う交流の場
時代を生き抜く確かなビジネスパートナー
産業人クラブへの入会を心から歓迎します。
埼玉産業人クラブ
会長 増田文治
日刊工業新聞社さいたま総局 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-12-4 TEL048(872)2281 FAX048(872)2285
日刊工業新聞社川越支局 〒350-0043 川越市新富町2-22 TEL049(229)2225 FAX049(226)7578
部会活動
● NITEC埼玉産学交流会 ● TDU産学交流会 ● 埼玉ビジネス研究会
http://www.sangyojin.org E-mail : clubsaitama@sangyojin.org